

## 「山上の変貌」

2015年07月14日

ルカによる福音書9章28節～36節。この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた。見ると、二人の人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤである。二人は栄光に包まれて現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期について話していた。ペトロと仲間は、ひどく眠かったが、じっとこらえていると、栄光に輝くイエスと、そばに立っている二人の人が見えた。その二人がイエスから離れようとしたとき、ペトロがイエスに言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」ペトロは、自分でも何を言っているのか、分からなかったのである。ペトロがこう言っていると、雲が現れて彼らを覆った。彼らが雲の中に包まれていくので、弟子たちは恐れた。すると、「これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け」と言う声が雲の中から聞こえた。その声がしたとき、そこにはイエスだけがおられた。弟子たちは沈黙を守り、見たことを当時だれにも話さなかった。

上記の記述は「山上の変貌」と言われている。ペトロの「キリスト告白」がなされ、主イエスは「自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」と信仰の核心について語られた。その8日後、ペトロ、ヨハネ、ヤコブの3人の弟子たちを連れて高い山に登られた。神が臨在する山で祈るためであった。祈っていると、主イエスの顔が変わり、服が真っ白に輝き、二人の人が現れて、主イエスと語り合っていた。二人は栄光に包まれたモーセとエリヤだった。ルカ福音書は、3人はエルサレムで遂げようとしている主イエスの最期について話していたと記している。3人の弟子たちはひどく眠かったが、じっとこらえて、栄光に輝く主イエスとモーセとエリヤを見た。2人が離れようとした時、ペトロは「先生、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです」と申し出た。彼は感激し、動転し、何を言っているのか分からなかったのである。ペトロがこう言っていると、雲に覆われて彼らは見えなくなった。雲は神顕現の印である。弟子たちは驚愕して、立ちすくんでいると、雲の中から「これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け」という声がした。次の瞬間、主イエスだけがそこにおられた。

この出来事が歴史的に、どのようなことであったかは分からない。ルカ福音書はマルコ福音書を継承しているが、ここには、事実を超えたメッセージが込められている。山上の変貌は聖画によく描かれている。中央に主イエス、左右にモーセとエリヤが立っている。モーセは十戒を授かった人で律法を代表する。エリヤは預言者を代表する。この2人が現われたことは、主イエスは律法と預言の成就者であると伝えることが主眼であろう。ルカ福音書は、主イエスの最期について語り合ったと書いている。十字架は律法と預言の成就、完成である。それを更に「これはわたしの子、選ばれた者。これに聞け」という言葉で確認させている。

十字架と復活を予告された後、弟子たちに主イエスが神の子であると啓示された記述と読むことができる。弟子たちは恐れ「山上の変貌」の栄光について、沈黙し、誰にも話すことができなかつたと記している。